



福島の今と私たち

安田学園中学校

しょうつ るみか
正津 瑞美佳

皆さんは福島の復興の現状についてどの程度知っていますか。私は「福島～その先の環境へ。ツアー」に参加して、具体的な復興の取り組みや福島の現状を知るまで、震災からの復興途中ということしか知りませんでした。福島を活気に満ちた状態に戻すには、多くの人々が現状を知ったり、福島に旅行に行ってお金を落としたりすることが一番大切であり、誰もができることだと思いました。その中でも、修学旅行で福島に行くようにすることが最も効果的であると私は考えます。

修学旅行で福島を訪れる利点は沢山あります。まず、これから日本の将来を担う私たち中高生が福島について深く学び、素晴らしさを体験することで、福島に対する負の印象を払拭することができます。ツアーの中で、放射線の影響を受けにくいことを利用した綿花の栽培では環境を考慮した農業を体験させていただきました。そして、福島で行う農業の大変さと大きさを学んだ後に、この綿花を使用したタオルを触らせていただきました。放射線の影響を少しも感じないふかふかで触り心地のいいタオルでした。また、ツアーでの食事の多くが福島産の食材を利用したもので、普段食べているものより美味しいと感じました。この体験を通して、私が福島の食事の安全性や人々の努力を強く実感したように、修学旅行で学生が訪れたならば、農業体験や伝統工芸体験を通して正しく福島を知ることができます。正しい知識を多くの人が持つことは、福島産というだけで農産物などを危険

だと判断する人の減少に繋がります。さらに、震災当時のまま時の止まった時計や曲がったままのシャッターなど、目を背けたくなるような町の中で懸命に努力する人々の姿をみることができます。傷を負いながら前を向く人々の姿は、きっと多くの学生に深い感銘を与えると思います。また、修学旅行で訪れるることは福島に多くのお金を落とすことを意味します。ある程度数のまとまった団体が定期的に宿泊することで、町をさらに活気づけることができます。他にも、お土産で福島産の食品を持ち帰ることで、学生の家族にも福島の食品の安全性と素晴らしさを体験してもらうことが出来ます。また、家に帰った生徒が福島で学んだことについて家族に話すことで、福島への正しい理解が広まっていくと私は思います。

福島の現状を知れば分かるように、現地の人々にとってまだ震災は終わっていません。震災によって負った傷を抱えながらも、より良い未来のために前向きに活動し、偏見と闘っている人々がいます。次世代を中心とした多くの人々が福島の現状を正しく理解し、訪れて町を人で賑わせるこの方法が、活気に満ちた福島の未来を手に入れる最も有効な方法だと考えます。